

# 共に進めましょう！ 京都市の「学校評価」

キーワードは「自らを振り返り」、「互いに高め合う」です！

京都市の学校評価は、学校・家庭・地域が相互に高め合うことを目指します。

- 学校評価は、
  - ①教職員による自己評価
  - ②児童生徒による評価
  - ③保護者・地域の皆さんによる外部評価からなります。これらの「評価」を通して、よりよい学校づくりを行います。
- 「評価」は、教職員、児童・生徒、保護者・地域の方々が、自らの行動を振り返る機会でもあります。「評価」を通じて、一方的な要求だけではなく、足りないところを補い合い、学校・家庭・地域が相互に高め合うことを目指します。
- 学校は評価結果を、必ず保護者・地域の皆様に公表するとともに、今後どのような点を充実・改善すべきかを皆さんにお示しします。
- 評価の信頼性・客観性を高めるため、教育委員会に設置している学識経験者等を含めた「評価専門委員会」が、「学校評価システムが効果的に機能しているか」について検証します。

## 地域ぐるみの教育の推進

子どもを育てるためには、「学校が家庭・地域を高め、家庭・地域が学校を高める双方向の信頼関係」の構築が重要です。そのためには、学校・家庭・地域が次のことを「共有」することが必要です。

- 1 子どもの情報や課題を「共有」 → 学校だよりやHPを見てください。また、自由参観などの機会に、学校に足を運んでください。
- 2 課題解決に向けた行動を「共有」 → 課題解決に向けて、学校教育に積極的に参画してください。
- 3 評価の「共有」 → 学校が公表する評価結果から分かる成果や課題を受け、次の行動につなげましょう。

## 教育活動充実のための学校評価 《年2回以上実施》

### 学校の教職員による自己評価

授業改善・指導の充実など図るため、自らの教育活動を点検します。

- 子どもの良いところを積極的に見つけようと努力していたか。
- 授業での発問、指示、説明などを工夫していたか。丁寧な板書を行っていたか。
- 子どもの安全や健康に対する目配り・心配りを十分に行えたか。 など

### 児童生徒による評価

自分自身を振り返るとともに、授業の改善につなげるための授業評価を行います。

- 先生や友達の話をきちんと聞けましたか？
- 自分から進んで本を読んでいますか？
- 先生の授業はよく分かりますか？
- 先生は困っていることについて、一緒に考えてくれますか？ など

子ども自身の振り返り

授業改善に生かす評価

### 保護者・地域の皆さんによる外部評価

学校への評価や家庭・地域の役割を振り返っていただく評価を行います。

- 学校からの様々な説明は分かりやすいですか？
- 子どもさんは楽しそうに学校に通っていますか？
- 先生は分かりやすい授業をしていますか？
- 学校のことについて家庭で話をしていますか？
- 学校から配られるプリントなどは必ず見えていますか？
- PTA活動や地域の行事に積極的に参加していますか？ など

学校への評価

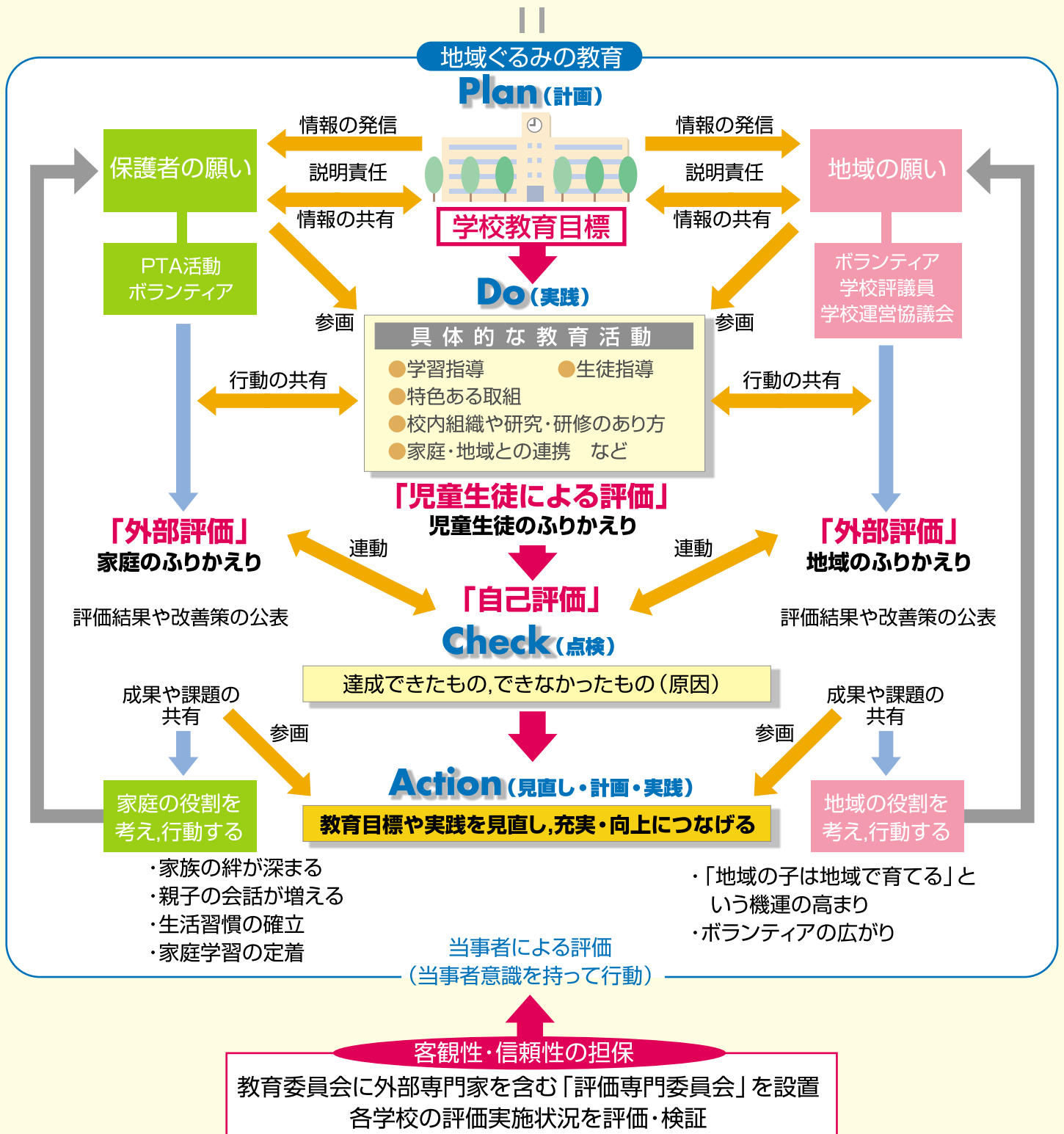
家庭・地域の振り返り

# 京都市の学校評価システム

## 学校・家庭・地域が「育てたい子ども像」と「評価」を共有

—情報・課題意識の共有から行動の共有へ。そして評価を共有し、共に教育力を高めるシステムに—

内外に開かれた学校づくり,説明責任(自由参観・学校だよりの地域回覧・ホームページ)等



学校評価から学校・家庭・地域を含めた子どもの学びと育ち全体の評価システムへの進化

## 学校を核に地域コミュニティを再生